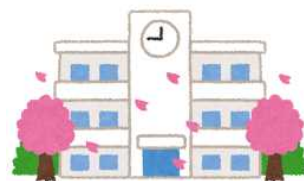


新年度のスタートに当たり

校長 疋田 敦士

新入生11名を迎え、全校児童87名で1学期がスタートしました。新入生はもちろん、子どもたちは学年が1つ上がり、希望に満ちあふれた顔で登校してきました。

新年度のスタートに当たり、次のような話をしました。



新しい年度、令和2年度が今日から始まりました。3月には新型コロナウイルス感染拡大防止のため、急に臨時休校となりましたが、今日から学校再開です。皆さん一人一人が自分にあった目標を立て、あきらめず粘り強く目標に向かって、頑張ってもらいたいと思います。学校生活が一人一人にとって、よりよくなるために皆さんに2つ頑張ってもらいたいです。

1つ目は、『あいさつ』です。家族へのあいさつ、地域の方々へのあいさつ、友達や先生方へのあいさつ。様々な人や場面であいさつがあります。あいさつは、人と人をつなぐ心のコミュニケーションです。あいさつを通して、気持ちの良い学校・地域をつくりましょう。

2つ目は、『仲間』です。金子みすゞさんの詩「私と小鳥と鈴と」の中に「鈴と、小鳥と、それから私、みんな違ってみんないい」というフレーズがあります。これは、互いの良さを見つめ、違いを受け入れるということです。河崎小学校はどの学年も一クラスです。自分との違いを認め合い、思いやりの気持ちを持ち、クラスの仲間が一体となって過ごしてください。

令和2年度から、いよいよ新学習指導要領が小学校で全面実施となり、新しい学年や新しい生活とともに、新しい教育のスタートでもあります。子どもたち一人一人の気持ちに寄り添った教育を行うことで、必ずや子どもたちは一歩ずつ確実に伸びていくと信じています。今、この瞬間の輝きを大切にしながら、子どもたちとしっかり向き合い、1日1日を過ごしていきたいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様、この1年間、どうぞよろしく願いいたします。